

2019年11月1日

各位

会社名	株式会社昭文社
代表者名	代表取締役社長 黒田 茂夫
コード番号	9475 東証第一部
問合せ先	執行役員管理統括本部長 加藤 弘之
T E L	03-3556-8171

2020年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異 に関するお知らせ

当社は、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

●2020年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,110	△400	△350	△350	△19.25
実績値(B)	3,950	△171	△128	△141	△7.78
増減額(B-A)	△159	228	221	208	
増減率(%)	△3.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	4,372	△315	△276	△303	△16.72

【修正の理由】

当第2四半期連結累計期間において、売上高は当初の予想を未達成であるものの、営業損失は当初の予想より改善された結果となりました。この主な要因は、売上原価において、返品調整引当金繰入額が当初想定より低い水準となっていること、予定していた外注費が一部未執行であること、また、販売及び一般管理費においても同様に予定されていた費用の一部が未執行であるためと認識しております。また、これにより経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失においても、当初の予想より改善された結果となりました。

通期連結業績予想値につきましては、当第2四半期連結累計期間において、売上高の未達となった分は第3四半期以降に計上できる見通しであること、当初想定より低い水準となっていた返品調整引当金繰入額は、第3四半期以降において当初想定していた繰入額が必要となる見込みであること、また、未執行となっている外注費と販売及び一般管理費関連の諸費用は、第3四半期以降に執行される見通しであることから2019年9月12日発表の業績予想を据え置いております。

以上